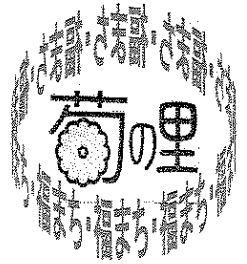


菊の里地区福まちだより

☆『福まち』ってなあに!?

地域の誰もが安心して暮らしていくために住民が力をあわせ、専門機関と協力しながら住民主体の活動で、「福祉のまち推進事業」を進めています。



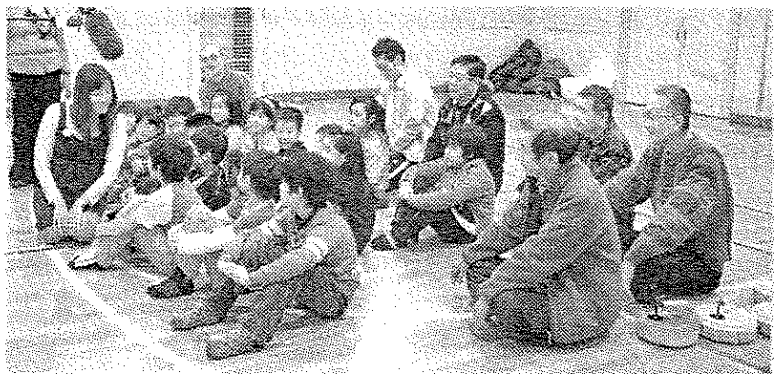
□NHK放送番組『この街きらり★』に菊の里地区が紹介

平成23年1月29日(土)午前10時05分からのNHKテレビ放送の番組を見られた方もおられると思いますが、菊の里地区で取り組んでいる事業を紹介することから、4日ほどかけて収録されたものが放映されました。



☆冬の運動不足を解消するフロアカーリング

この放送の中で紹介された、フロアカーリングはみなさんもあまり耳にしたことはなかったと思います。室内で遊ぶことができるスポーツとして誰でも楽しめるので、おいに参加をお待ちしております。



三世代交流の事業として菊の里連合町内会では力を入れておりますので、興味のある方は菊の里まちづくりセンターまでご連絡下さい。(Tel871-2448)

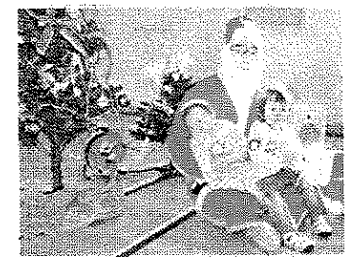
この取材にご協力いただきました皆さま方には悪天候のなか、大変ありがとうございました。

☆菊の里地区福祉のまち推進センター

□わくわくポケット『きくすいもとまち幼稚園で雪遊び』

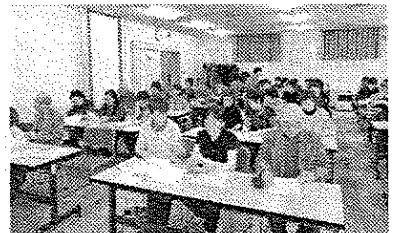
1月13日(木)厳しい寒さの中きくすいもとまち幼稚園で、地域の子どもたちや園児が集まり白石高校の生徒や先生たちとボランティアの皆さん方が雪中遊びをして楽しみました。大きな雪山ができたものの当日は猛吹雪で目も開けられないほどでした、それでも子どもたちはソリすべりをしたり、アンパンマン遊びをしたり、カップシャーベットを作ったりと、吹雪をよそに雪だらけになって夢中で遊んでいました。室内では小さなお子さんたちがお母さん方とお人形遊びや、ブロック遊びをして楽しみました。大人たちも幼い頃を思い出していたのでしょうか? どなたも明るい顔をして楽しんでいました。

また、12月17日(金)には、菊水元町地区センターのクリスマス会に181名の参加があり、サンタさんが二人も来てくれて子どもたちはプレゼントをもらって盛り上がりました。サンタさんは写真撮影に大モテでしたよ。プレゼントの中には手造りの品もあり、”毎年いろんな事を企画して沢山の手作り品には本当に感激です”と話をしてくれるお母さんもいてボランティアとして何より嬉しい心のプレゼントをいただきました。



□地区福まちボランティア研修会

2月17日(木)午前10時より白菊会館において開催致しました。今回はお二人の体験談をお話していただきましたが、お二人とも初めは戸惑いながらも徐々に子どもたちの笑顔や歓声、お年寄りたちの感謝のことばに仲間入りができたと明るく話をしてくれました。また、講師として白石区社会福祉協議会佐藤朋紘事務局次長から『地域で出来るボランティア!～高齢者の見守り活動～』と題してボランティア活動の取り組みについて・見守り活動の具体的方法とチェックポイントなど、これからの活動に参考になるお話をしていただきました。研修会には60名の方の参加があり、内6名の方が新しくボランティア登録をいただきました、継続の方にも厚くお礼申し上げます。



☆『ボランティア活動にお友達と一緒に参加してみませんか』

菊の里地域の誰もが安心して暮していくために住民の皆さんが協力し助け合う、そのためにもボランティア活動が最も必要と考えております。平成23年度の福祉のまち推進事業を進めていくために、ボランティア活動に参加出来る方を募集しております。

ボランティア活動とは、地域の老健施設で介護支援・幼稚園や保育園事業支援・子育てサロンの支援・高齢者の見守り活動・個人的な活動支援(家の中の掃除、ごみ出し、買い物や通院の付き添い、話し相手など)が現在のボランティア活動となっております。

尚、ボランティア登録された方には、一年間のボランティア保険(福まち負担)に加入致します。ボランティア活動についてのお問い合わせと参加申込は

菊の里地区福祉のまち推進センター 電話 871-2448 です。

☆菊の里連合町内会

□地域のお茶の間(福祉部)

12月4日(土)午後3時より白菊会館で菊の里なかよし子ども会と地域の高齢者とのクリスマス交流会が開催されました。

75名の参加がありゲームなどで楽しみ、夕方には福祉部の方々が作った食事と子どもたちの手で作ったケーキでクリスマス会を行いました。子どもたちも高齢者の方々も楽しく過ごす事が出来、この様に三世代交流を経験させていただき参加した子どもたちは幸せです。今後も地域文化の交流に参加させていただきたいと思っています。ご協力宜しくお願い致します。(菊の里なかよし子ども会より)



□『正月だよ! 子ども餅つき大会』

平成23年1月30日(日)菊水元町南福祉会館においてまちづくりネットワーク協議会主催による『子ども餅つき大会』が開催されました。

1月に入り雪と寒い日が続いていましたが、当日は大勢の子どもたちが集まりました。子どもたちも自ら杵と臼でお餅をつき、きな粉・おしるこ・お雑煮を作り皆さんで楽しみながらお腹いっぱい食べていました。

また、当日は朝早くから地域の皆様にお手伝いいただき、事故や怪我もなく無事終了することができました。ご協力に感謝いたします。今後とも子どもたちを温かい目で見守って下さい。



□地域違法駐車等防止パトロール(交通防犯部)

2月3日(木)午後7時から、菊の里地区の交通安全運動として、関係機関・団体による「違法駐車パトロール」を実施しました。今回は菊水元町南町内会と白菊町内会の地域をパトロール車による広報活動と、違法車両に対するステッカーによる啓発を行いました。路上駐車の一掃を図り地域の安全で快適な交通環境の形成に資することを目的とする活動です。平成23年度も菊の里地区の「交通安全早朝街頭啓発」や地域の交通安全運動を推進して参りますので、ご協力を宜しくお願い致します。



□平成22年度札幌市防災表彰を受賞

1月14日(金)白石区では菊の里連合町内会が札幌市防災表彰を受賞しました。この賞は昨年全町内会でDIGの研修会及びまち歩きを実施し防災マップを作成配布致しました。また、災害時要援護者避難支援体制の構築に向け、「ふれあいカード」や「災害時救急医療情報キット」の配布を通じて要援護者の把握に努めるとともに、日常の見守り活動を行い、地域における相互協力の意識向上を図っている。以上の理由により受賞しましたのでご報告致します。



☆菊の里まちづくりネットワーク

□「少年の居場所づくり」米里中学校地域ボランティア活動

10月21日(木)午後3時より菊水元町舞鶴公園において、公園の休憩場所の落書き消し活動に取り組みました。この活動には、米里中学校の1年生20名にも参加していただき、約1時間半で作業を終えました。

これは、北海道警察の少年サポートセンターが主催し、白石警察署生活安全課の署員と菊の里支部少年補導員4名がスタッフとして参加協力致しました。少年補導員は、警察署長の委嘱を受け、地域の青少年の非行防止や健全育成、環境浄化活動などを行うボランティアで、白石署管内には120名が登録されております。当日の環境美化は、専門家からの指導を受けながら米里中学校の生徒のみなさんにも熱心に取り組んでいただきました。後日地域住民の皆様にも「きれいになった」と喜ばれておりました。



今回の環境美化活動をはじめとしたふれあいサポート理科教室・ボランティア体験・少年スポーツ教室などの事業は「少年の居場所づくり」と呼ばれ、略して「JUMP事業」とも言われています。「JUMP」とはJuvenile Make Place=「少年の居場所をつくる」の略称です。

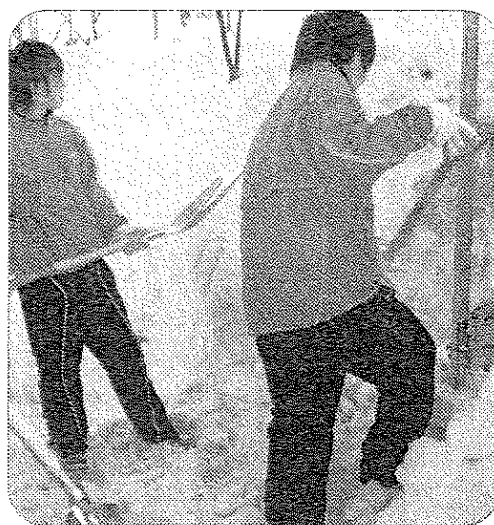
以上「少年の居場所づくり」の活動についてお知らせするとともに、今後の様々な活動につきましても、地域の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

□札幌白陵高等学校の生徒が消火栓除雪のボランティア活動

1月24日、札幌白陵高等学校の生徒約50名が、学校周辺に設置されている消火栓や防火水槽の除雪に取り組みました。札幌白陵高等学校は、従来から花壇づくりや清掃活動など、地域連携地域貢献活動を積極的に行っています。

この日は、札幌市白石消防団東米里分団の方々の協力をいただき、東米里地区の消火栓11基と防火水槽1か所の除雪を行いました。

この活動には、生徒会役員、野球、バスケットボール、バドミントン、バレーボールの各部員など約50名の生徒が参加。生徒たちは、スコップを手に消火栓等の設置場所に向かい、約1時間かけて除雪を行いました。



雪に埋まった消火栓をスコップで掘り出す本校の生徒達です。

札幌市内に設置されている消火栓は約1万7000基。札幌市消防局では、市民に対して、これら消火栓の除雪協力を呼びかけており、昨年度は7100基の除雪協力がありました。

野田秀太くん(バスケットボール部・2年)の話

「とても寒かったですが、地域に役立つことができよかったです。」

【本誌は赤い羽根共同募金分配金で発行されています】

菊の里地区福祉のまち推進センター運営委員会
菊の里地区まちづくりネットワーク協議会

白石区菊水元町8条1丁目(菊の里まちづくりセンター内)

電話 011-871-2448・871-2355